



信州コロイド & 界面科学研究会 SHINSHU-CIS

第2回（2016年）研究討論会開催のご案内

身の回りに存在する物質は、気体・液体・固体からなり、それらは“相”として存在し、その相が接触している境界には“界面”が存在します。また、身の回りを見てみると、コロイド状態をしたものが実にたくさんあります。コロイド・界面科学は、まさに物質の境界面、次元・サイズ・空間の境界領域を取り扱う学術領域であると同時に、それらが生み出す階層性や関連領域をつなぐ学術領域でもあります。すなわち、コロイド・界面科学は、自然科学の諸分野に跨る“学際性”と生活に密着した“実学”の二面性を持ち合わせています。本研究討論会が、様々な分野の研究者が集い、議論し、情報を共有する場となることを期待しています。

【主催】信州コロイド & 界面科学研究会（SHINSHU-CIS）

【後援】信州大学工学部、信州大学ものづくり振興会、信州科学技術総合振興センター・基盤研究支援センター

【会期】平成28年（2016年）10月28日（金）、29日（土）

【会場】信州大学工学部（〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1）

【参加費】無料

【発表資格】制限はございません。どなたでもご発表いただけます。大学、国立研究所、企業など、多くの方のご発表をお待ちしております。奮って、ご参加ください。

【発表内容】制限はございません。研究室紹介、研究内容紹介、企業紹介、製品宣伝など、ご自由に発表いただいて結構です。既に、学会、論文などで発表された内容でも結構です。

【発表形式】口頭（発表：12分間、質疑：8分間。なお、発表申込者数により開始時間、発表時間を変更することがございます。ご了承ください）

【発表申込および要旨原稿の提出】添付のワードファイル（要旨原稿ひな形）にご記入の上、下記、問合せ先（酒井俊郎：tsakai@shinshu-u.ac.jp）までEメール（件名：SHINSHU-CIS 発表申込_氏名@所属）にてご提出ください。ご提出いただきました要旨原稿をまとめて、要旨集として当日配布致します。

【発表申込および要旨原稿の提出〆切り】8月31日（水）24：00

【参加申込】

*発表される方：添付の参加申込書にご記入の上、下記お問い合わせ先までEメールにてお申し込みください。

*聴講のみの方のご参加も大歓迎です。奮ってご参加ください。添付の参加申込書にご記入の上、下記お問い合わせ先までEメールにてお申し込みください。

***10月14日（金）までに参加申込をお願いいたします。**

【交流会】信州科学技術総合振興センター3F ホワイエ（10月28日（金）17：45開宴）

【交流会費】一般6000円、学生3000円）

【交流会申込】添付の参加申込にご記入いただき、下記お問い合わせ先までEメールにてお申し込みください。

***10月14日（金）までに参加申込をお願いいたします。**

【問合せ先】信州大学工学部物質化学科 酒井俊郎

電話：026-269-5405；FAX：026-269-5424

Email: tsakai@shinshu-u.ac.jp

*宿泊される方は、各自ご予約のほど、よろしくをお願いいたします。

*軽装でお越しください。

【プログラム】

10月28日（金）

開会（1日目）：10：00（酒井俊郎）

一般講演（発表12分間＋質疑8分間）：10：05～11：05（座長：占部峻輔）

講演1： 10：05～10：25 ○大石拓・酒井俊郎（信州大院理工）

「乳化剤フリー油中水滴型エマルションの分散安定性：パラフィン油、電解質の影響」

講演2： 10：25～10：45 ○鈴木慧・酒井俊郎（信州大工）

「油性ゲルの安定化機構の解明」

講演3： 10：45～11：05 ○石黒良太・日浅聡士・高梨弘章・黒岩俊也・金

子克美・内海重宜（諏訪東京理科大学 工学部 機械工学科，信州大学）

「カーボンナノチューブのウィンドアップ式機械的エネルギー貯蔵」

休憩（10分間）

一般講演（発表 12 分間＋質疑 8 分間）： 11：15～12：15（座長：湯本賢也）

講演 4： 11：15～11：35 ○長井滉哉・松岡聖典・高橋史樹・金継業（信州大理）

「O/W エマルションにおけるルミノールの電気化学発光反応の増強効果」

講演 5： 11：35～11：55 ○北野 拓磨・高橋 史樹・金 継業（信州大理）

「CdTe 量子ドット修飾電極による共反応物型電気化学発光反応の考察」

講演 6： 11：55～12：15 ○新田 咲・金 継業・高橋 史樹（信州大理，信州大環工ネ研）

「電位変調-電気化学発光法を利用したメトキシフェナミン鎮咳成分の高感度検出法の開発と応用」

昼食（75分間）

特別講演 1（発表 60 分間＋質疑 15 分間）：

13：30～14：45（座長：酒井俊郎）

安川 雪子 先生（千葉工大工）

「磁性材料が拓く未来」

休憩（10分間）

一般講演（発表 12 分間＋質疑 8 分間）： 14：55～16：15（座長：酒井俊郎）

講演 7： 14：55～15：15 ○金山 直樹（信州大院 総合工，理研）

「DNA で覆われたナノ粒子」

講演 8： 15：15～15：35 ○山上朋彦（信州大学基盤研究支援センター長野分室）

「基盤研究支援センター長野分室の紹介」

講演 9： 15：35～15：55 ○中川泰晴（北広ケミカル株式会社）

「繊維加工と繊維加工薬剤について」

休憩（10分間）

特別講演 2（発表 60 分間＋質疑 15 分間）：

16:05~17:20 (座長: 酒井俊郎)

金子 克美 先生 (信州大 環境・エネルギー材料科学研究所)

「ナノ空間材料科学からの試み」

写真撮影: 17:20~17:30

閉会 (1日目): 17:30 (酒井俊郎)

交流会: 17:45~20:15 (信州科学技術総合振興センター (SASTec) 3Fホワイエ)

10月29日 (土)

開会 (2日目): 10:00 (酒井俊郎)

一般講演 (発表12分間+質疑8分間): 10:05~11:05 (座長: 鈴木慧)

講演10: 10:05~10:25 ○占部 峻輔・山本 歩・井上 喬允・宅見 信哉・
宇野 明・酒井 俊郎 (信州大院, 小林製薬, 信州大工)

「水中油滴型 (O/W) エマルションの分散安定性: 油滴内での疎水性物質
の水素結合」

講演11: 10:25~10:45 ○加藤寛啓・酒井 俊郎 (信州大院総合理工, 信
州大工)

「難水溶性薬剤の可溶化剤(ソルプラス®)の界面化学的特性」

講演12: 10:45~11:05 ○湯本賢也・酒井俊郎 (信州大院総合理工, 信
州大工)

「有機系潜熱型蓄熱材の吸放熱特性: 添加剤の影響」

休憩 (10分間)

一般講演 (発表12分間+質疑8分間): 11:05~12:15 (座長: 大石拓)

講演13: 11:15~11:35 ○狭川雄大・伊藤冬樹 (信州大院総合工, 信州
大教育)

「蛍光性メカノクロミズムを示す有機ボロン錯体の熱戻り反応機構の研究」

講演14: 11:35~11:55 ○森山舞・藤木衛・岡佐知子・柴原進・佐藤高彰（信州大繊維, 味の素株式会社）

「食品関連油脂混合系の結晶性と積層構造」

講演15: 11:55~12:15 ○帯金 未来・柳瀬慶一・小倉卓・戸掘悦雄・佐藤高彰（信州大繊維, ライオン株式会社）

「ジアルキルジメチルアンモニウム塩分散系の静的構造とイオン及び溶媒水のダイナミクス」

昼食（75分間）

特別講演3（発表60分間+質疑15分間）:

13:30~14:45（座長：酒井俊郎）

小寺 孝範 先生（花王株式会社, 信州大学）

「油と脂」

休憩（10分間）

一般講演（発表12分間+質疑8分間）: 14:55~16:15（座長：加藤寛啓）

講演16: 14:55~15:15 ○小出崇史・岡田友彦（信州大工）

「W/O エマルションテンプレート法によるシリカ系マイクロカプセルの形状設計」

講演17: 15:15~15:35 ○山内雅大・牧 裕介・岡田友彦（信州大工）

「有機シリカ担持 TiO₂ 光触媒の合成」

講演18: 15:35~15:55 小島 大・○岡田友彦（信州大工）

「薄膜カップ状シリカ担持触媒によるメタンの水蒸気改質反応」

休憩（10分間）

特別講演4（発表60分間+質疑15分間）:

16:05~17:20（座長：酒井俊郎）

伊藤 冬樹 先生（信州大教育）

「蛍光スペクトルを用いたコロイド粒子・結晶生成過程の研究」

写真撮影: 17:20~17:30

閉会：17：30（酒井俊郎）

終了：17：30（解散）

信州コロイド&界面科学研究会 第2回（2016年）研究討論会 会場 ご案内図

